


# 柏市民活動ニュースレター

2021年7月発行 第21号

## 将来に希望を持って困難を乗り越えていきましょう！

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が1年以上続き、市民活動団体の活動にも大きな影響があります。今号ではその状況について市民公益活動団体の皆様にアンケートをご協力いただき、結果を報告しています。
  - アンケート結果や日ごろ市民活動団体の皆様と接している中で、市民活動サポートコーナーとしても、あたりまえのことができない困難な状況の中だからこそその気づきも多く、感染症が終息した後の新たな展開を期して、今はしっかり準備をしていく時期と考え、将来に希望を持って困難を乗り越えていきたいところです。
- 
- おやこ舞台鑑賞会『ポロロンシアターげんきーい』  
@パレット柏 主催：(特)NPOこどもすぱーす柏  
定員を減らして距離を保ちながら鑑賞しています。
- 一方で、コロナ禍によって顕在化した地域課題もあり、市内でそういった課題に取り組もうとする新たな動きも見られます。そのような動きを多くの市民の皆様と共有して、大きなうねりにしていくことは市民活動サポートコーナーの役割と考えています。まだ終息の気配を見せないコロナ禍においても、市民活動団体の取り組みを参考にしつつ場づくりをしていきたいと思えます。
  - 昨年度、柏市民活動フェスタ&フリーマーケットほかほか市は残念ながら中止となってしまいました。今年度は、同じ轍を踏むことなく開催できるよう、現在実行委員会で企画を検討しているところです。開催には多くの市民活動団体の皆様のご協力が不可欠です。よろしく願いいたします。

### <目次>

はじめに	・・・1ページ
第1回協働まちづくりサロン『かしわマイフットパス de 柏の魅力発見！』	・・・2ページ
令和2年度柏市民公益活動助成補助金成果発表会	・・・3ページ
たまご補助金団体活動訪問記 Kashiwa Prog-Science	・・・4ページ
協働のかしわ情報発信チーム・活動レポート	・・・5ページ
コロナ禍における市民活動アンケート結果報告	・・・6～7ページ
おしらせ	・・・8ページ

## 第1回 協働まちづくりサロン 『かしわマイ・フットパス de 柏の魅力発見！』

第1回協働まちづくりサロンは、令和2年度から運用開始された「柏市協働まちづくり提案制度」の第1号事業「かしわマイ・フットパス推進事業」をテーマにとり上げ、本事業に関連する市民活動団体・市の担当課から12名の方に参加していただき、第1部では、フットパスに関するそれぞれの取組みや課題について情報交換をしました。

また、14名の公募市民の方にもリモートで参加していただき、第2部の「みんな de 情報交換会」では、フットパスに関する多くの有意義な提案をしていただきました。

### 「かしわマイ・フットパス推進事業」の概要

■テーマ：『かしわマイ・フットパス de 柏の魅力発見！』

■事業の目的

- ① マイ・フットパスの普及による、柏市民のふるさと意識の醸成
- ② マイ・フットパスを起点にした、協働による新たなまちづくりの展開

■協働・連携する団体・課

【団体】柏観光プロダクション、柏歴史クラブ、多世代交流型コミュニティー、かしわインフォメーションセンター  
【関係課】住環境再生課、文化課、商工振興課



### 《サロンの実施概要》

■テーマ：かしわマイ・フットパス de 柏の魅力発見！

■日時：2021年5月28日(金) 15:30~17:30

■場所：パレット柏 ミーティングルームF・G

■内容

【第1部】かしわマイ・フットパス勉強会

- ① 提案事業の説明
- ② 連携する課/団体の施策/活動の紹介

【第2部】みんな de 情報交換会

テーマ：おススメの「フットパスコース」や「スポット」を教えてください！

■参加者（会場12人+オンライン16人）

- (1) 協働・連携する団体・課
- (2) 公募市民（オンライン参加）



### 《リモート参加者からの提案》

- ・サイクルツーリズムラボ「ちゃーりんぐ柏」プロジェクトを提案
- ・郷土の史跡や神社仏閣も良いが、民話や伝説に関連する場所を訪ねるツアーも企画して欲しい。
- ・我孫子市と連携して、「道の駅しょうなん」を起点に「我孫子市鳥の博物館」や手賀沼北岸の「白樺派の小径」を巡るコースを考えてみたら如何か。
- ・流山市と連携して、両市に跨る長大な野馬除け土手跡を巡るコースを考えてみたら如何か。
- ・柏市の歴史は、手賀沼の漁業・水運と江戸幕府が軍馬育成のために設置した「小金牧」(放牧場)を抜きにしては語れないと思っている。
- ・柏の昔ながらの食材・地元の農産物・加工食品などを食べ歩きたい。
- ・柏の葉キャンパス駅を起点にして「柏の葉スマートシティ」「こんぶくろ池」「柏の葉公園」などを巡るフットパスツアーを企画すれば、この辺りを知らない市内の中南部の住民や若い世代も参加するのではないか。
- ・布施の土谷津とその古い街並みに感動したので、柏市民には是非とも知らしめるべくフットパスツアーを企画・実施してもらいたい。
- ・女子大学の学生を案内して神社仏閣・史跡などを巡った際、彼女達はそれらの由来や歴史の説明を聴こうとしなかったが、歩道を埋め尽くす紅葉の落ち葉や個人宅のバラの花など何気ない情景に興味津々となって写真を撮りまくっていた。
- ・ということから、フットパスの設定にあたっては、普段の情景という視点からも考えて欲しい。

たまご  
補助金

## 令和2年度 柏市民公益活動育成補助金 成果報告会を開催しました

4月下旬、令和2年度柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）が交付された10団体の成果報告会を開催しました。コロナ禍による活動の制限もあり、当初の計画を大きく変更せざるを得ない状況が続きました。対面が難しい反面、オンラインやLINEを取り入れ新しい活動や、地域・人と人の繋がりを再確認できている団体が多くありました。

【評議委員の皆様より】

- コロナ禍を逆に利用し、活動の幅を広げていることは素晴らしいですね。補助金を活用して、地域課題や福祉の悩みなどの解決に引き続き取り組んでください。
- オンラインイベント等の集客で苦戦している場合は、行政や公共機関と連携して活動のPRをしてはどうか。SNS等を活用するのであれば、『私たちも楽しく活動しているんだよ』が伝わればそこから繋がりが広がっていく。“映える”コンテンツを増やし情報発信していくと良いのではないかな。

この補助金制度を契機として、多くの団体の発展とご活躍を期待しております！

### 発表団体名

NPO法人 鳳

Kashiwa Prog-Science

東葛北部認定栄養ケアステーション

あおむしCAFE

ママのカラダケアLabo

北柏楽しいことやっちゃおうプロジェクト

ママコミュSMILE :)

TENROKU '19

まつばスマイルネットワーク

チーム・ばんばん



### Q. 制度の概要は？



1年で完了する事業に対するの補助金です。  
(団体の維持、運営に関わる費用は補助対象となりません)  
補助割合は補助対象経費の90%、補助上限額は20万円、  
交付上限回数は2回までです。

### Q. 応募資格は？



- ①市内に事務所があり、主として柏市で市民公益活動を行うこと、
- ②設立から3年未満であること、
- ③構成員が5名以上であること、
- ④柏市に市民公益活動団体登録をしていること など、定められています。

(宮崎 彩)

## Kashiwa Prog-Science (カシプロ) 『さわやかプログラミング学習会』



本号から新企画「たまご補助金団体の活動訪問記」を連載します。たまご補助金団体は設立間もない団体です。皆さん、暖かく見守って、たまごが孵化するのを応援してください。

記念すべき第1回の訪問団体は、2021年度のたまご補助金団体「Kashiwa Prog-Science (カシプロ)」です。当団体は、児童生徒を対象にしたプログラミング学習会などを行っている市民公益活動団体です。

今年度の活動は、コロナ禍で中止を余儀なくされてきましたが、まん延防止等重点措置の解除を待って6月27日(日)に活動が再開されました。早速、市民活動サポートコーナーのベテラン番記者が訪問し、活動取材してきました。

### Kashiwa Prog-Science

代表 上杉光榮

地域の児童生徒  
や大人・シニアが  
パソコンやプログ  
ラミングなどの  
ICTを、世代間の



知識や経験などを共有し、楽しく学びあう「場」を提供する柏市の地域ICTクラブです。

学校で学んだプログラミングでロボットなどのハードを実際に動かしてみましょ。カシプロではたまご補助金で整備したSTEMロボットを自由に使うことができます。

#### 《活動の概要》

- 名称：さわやかプログラミング学習会  
～toio (トイオ) 体験会～
- 日時：2021年6月27日(日) 10:00~12:00
- 場所：さわやか県民プラザ
- 内容：Sonyの遊んでプログラミングを学べる  
キューブ型ロボット toio (トイオ) の体験会
- 参加者：小学生の親子5組

#### 《現場から中継です！》

キューブ型ロボット toio (トイオ) を使って、楽しくプログラミングを学ぶ学習会。コロナ休み後、初めて開催した学習会には、待ちかねた5組の小学生の親子が参加。一通り基礎を学んだあとで、toioを使ったレースが行われ、子どもよりお母さんの方が夢中に。「〇〇ちゃん頑張れ！こっちこっち～！」(笑)



#### 《参加者の声》

お母さんと一緒に初めて参加した小学校3年生のM君。普段はお母さんにゲームを禁止されているそうですが、今日ばかりはお母さんが応援団長！その甲斐あって、toioの最終レースで見事に一等賞！



**6月度の  
さわやかプログラミング  
学習会**

**プログラミングで現実のモノを動かそう**

**●6月27日(日) toio (トイオ) 体験会**

6月27日のプログラミング学習会は、Sonyの遊んでプログラミングを学べるキューブ型ロボットtoioの体験会です。  
※スクラッチのブロック命令を使って、いろんなプログラミングを体験できます。  
※県民プラザのiPadを使ってプログラミング出来ます。

トイオについて詳しくはこちら

開催日時：6月27日(日) 10:00~12:00  
定員：6名(どなたでも)  
会費：無料(お申し込み済みの個人利用会員は300円(2時間)が上限になります)  
受付：当日1階待合室にて先着順  
主催：さわやか県民プラザ  
協賛：マイソコボランティア Kashiwa Prog-Science (カシプロ)

**6月6日・13日・20日のプログラミング学習会は中止します**

**KashiPro**

#### 《番記者の声》

今の小学生、プログラミングも遊びの延長線上であることに驚き！「カシプロ」さんは高校生からシニアまで多世代の会員が活躍している数少ない団体であり、今後の更なる発展が期待されます！

(及川愛二)

## 協働ってなあに？ 活動を聞きにいく

～協働のかしわ情報発信チーム・活動レポート～

### 【その2 できる街プロジェクト 市民団体×市民団体×市民団体】

できる街プロジェクトは、柏市を拠点とし「やりたいことを実現できる」社会作りを目指して活動しているグループです。やりたいことはあるけど、どう実現したら良いかわからない、一緒に実現してくれる人がいない、と悩んでいる人たちと一緒に活動をしています。何かを実現する時に、ひとりでは無理でも、仲間や他のグループと一緒にコラボ（協働）すると実現できるかもしれません。

「できる街プロジェクト」をきっかけに活動が始まったグループは、たくさんあります。

ご当地アニメ制作工房「超普通スタジオ」、ご当地ゆるアニメ「超普通シリーズ」、柏の調査活動を行う「私立柏研Q所」、自分たちが楽しみながら美化活動を行う「護美団」、演劇集団「松花ステッキ」、美容師さんたちによるひきこもり支援活動を行う「BLP」、謎解きサークル「二四立証倶楽部」などがあります。



声優の篠原夢さんとできる街プロジェクトの楠本さん。真ん中はマスコットキャラクターの「テガちゃん」

#### 【協働のポイント】

できる街プロジェクトは、アニメを制作するグループ「超普通スタジオ」と、柏市のハンディを持った人たちの市民団体とコラボ（協働）して、ハンディを持った人たちが住み良い街づくりを進めるためのアニメ制作に取り組みました。3つのグループがコラボ（協働）して初めて実現できる活動です。それぞれの市民団体が持つ特徴を持ち寄り、補完し合って「やりた

いことを実現」しました。そこにはできる街プロジェクトが調整役になり、旗振りになって強く推進していることにあります。コラボ（協働）をうまく進めるポイントは、熱意のある推進役の存在と皆さんの大きな協力です。

#### 【できる街プロジェクトからのメッセージ】

オリジナルのご当地ゆるアニメ「超普通シリーズ」では、アニメ登場人物の声優を昨年公募し、現在アニメ制作に取り組んでいます。また「私立柏研Q所」「護美団」「松花ステッキ」等の活動に参加しても良いですし、自分でやりたいプロジェクトを立ち上げて良いのです。新たなプロジェクトを立ち上げる時には、多くの仲間が協力してくれます。柏市で何かをやりたいと思っている人、新しい仲間を作りたいと思っている人！集まれ！



柏モディ前で行われた声優オーディションの様子

取材・レポート：情報発信チーム

深津英雄、中島 幸

（鬼山恵子）

◎協働の推進・情報発信チームは、市民団体の有志と柏市とで結成されたチームで、協働のまちづくりに関する様々なことを発信しています。

## コロナ禍における市民活動について アンケート結果報告

2020 年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、個人生活はもとより、柏市内の市民公益活動にも大きな影響がありました。そこで、コロナ禍における市民活動についてのアンケートを実施し、その影響や対策等について伺いました。



募集期間 令和3年5月20日(木)～6月12日(土)  
募集方法 市民活動サポートコーナーメールマガジンほか  
対象 柏市民公益活動団体および登録個人  
発信数/302 回答数/25

### 【2020 年度活動実績】

2020 年度活動予定の約 34%が中止されていました。実施された活動も当初の予定通りではなく、以下のような対策を取っていました。

参加人数を減らした (32%)  
オンライン会議にした (22%)  
内容を変更した (20%)  
実施場所を変更した (10%)  
参加対象を変更した (8%)

具体的には

- ・出席人数を分割して行った
- ・実施時間を短縮
- ・会場にシールドを設置した
- ・活動の多くを野外にした
- ・プログラムを見直した
- ・日常生活における感染症予防についても会報などで伝えた。

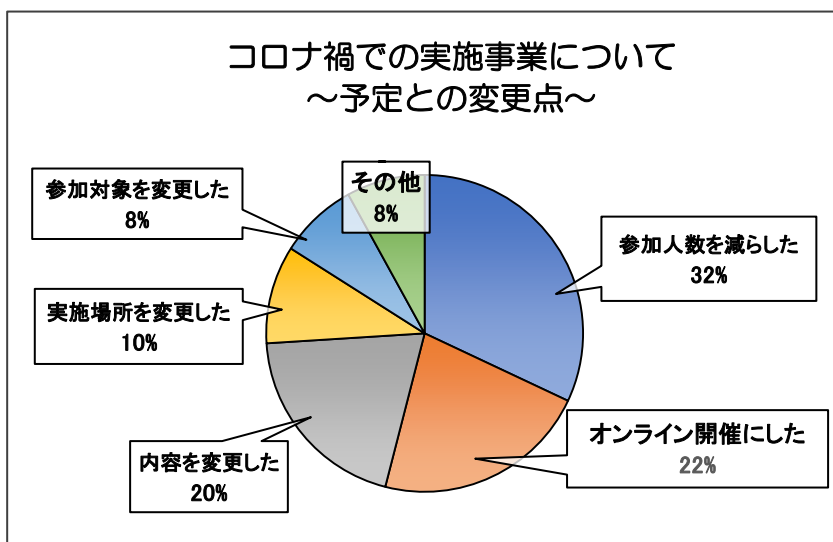
などの工夫をして活動を続けていたことがわかりました。

団体の声をまとめました。

### 【オンラインの活用について】

「高齢者はオンラインを使用できない方が多く高齢者の活動にブレーキがかかってしまった」、「対面式の懇親が会の結束に不可欠だ」といった意見がある一方で、オンラインの活用が有意義であったという意見も多くありました。

### コロナ禍での実施事業について ～予定との変更点～



- ・オンライン会議でもやれることが多いことが分かった。
- ・情報共有が頻繁に行われるようになった。
- ・参加者への連絡手段を郵送や電話からメール配信するようになり、費用や時間の軽減にもつながった
- ・活動は制限されたが、オンラインで行われている地域の講座や研修に自宅から参加して勉強ができた。
- ・高齢者で携帯でのやり取りやメールができなかった人が、活動に参加したい一心で学び、家族にパソコンを借りて毎回熱心に参加している。高齢となっても意欲があれば活動や勉強が続けられることがわかった。
- ・普段なかなか参加できない現役世代が活動に参加できた。

### 【活動への気づき】

- イベントの中止や会員の減少など、マイナスのみであった。
- 今まで当たり前活動していたことができなくなることで活動のエネルギーを維持していくことがとても難しいと思い知らされた。
- 活動の中止に、励まみや「続けてほしい」との思いに触れ、運営に協力してくれているスタッフやボランティアさんにも活動が居場所となっていることに改めて気が付いた
- 定員を半分にしてイベントを行ったが、コロナ禍でも満員になり活動が求められていると再認識した。
- 改めて人との交流や声を出すこと、体を動かすことの大切さがわかった。
- 閉じこもりがちになったり心身の不調を感じる方も多くなっている状況下で対策をとりつつ工夫をして健康づくりの活動をつづけることができた。



柏の葉ウォーキング教室の様子  
柏の葉ウォーキングクラブ 2020年5月

### 【今後の活動について】

- これまで以上に支援が必要なことや新たな支援が増えた。状況を踏まえながら柔軟な支援活動を進めていきたい。
- コロナ禍によりみんなが一度立ち止まって考える機会となりました。今後も活動を継続するために、持続可能な体制づくりも考えていきたいと思っています。
- オンラインが苦手、使えない会員もいて活動が難しかった。どうすれば活動できるか考えて工夫した。今までのやり方に「とれわれぬい」という言葉を合言葉にする。

ご協力くださいました皆さまありがとうございました。

今後も対策を取りながら活動する状況が続くことが予想されます。新しい様式を取り入れたり変化を享受しながら活動の歩みを続けていくために、各団体の取り組みや考え方を今後の活動の参考にさせていただければと思います。



Zoom 会議システムを使った講座の様子  
かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと  
「孫育て講座」2021年2月

### ■市民活動フェスタ開催についてのアンケート結果■

2021年11月23日に予定されている「柏市民活動フェスタ」についてのアンケートを同時に行いました。

今後も感染症に対する心配が続くことが予想されますが、対策を取りながら従来の会場とオンラインの2段階で行う、新しい形式での開催を望む声が多くありました。

### 【意見】

「市民活動の火を消さないためにも、出来る形態で、とにかく開催」、「前回は中止になってしまったので今年度はぜひ参加したい」などのご意見を寄せていただいています。現在、フェスタの実施に向け実行委員会を開き検討を重ねています。フェスタを通して柏市の市民公益活動を市民の皆さんに知ってもらえるよう、団体・個人のみなさまの知恵と力を合わせて進めていけたらと思います。今後ご協力をお願いします。

(三好玲子)



こんにちは 協働推進課長 仁尾です

4月より協働推進課課長に着任いたしました、仁尾順一（におじゅんいち）です！

市民公益活動等にご協力いただきありがとうございます。コロナ等逆境を乗り越え、市民活動を盛り上げましょう。



一丸となって  
がんばります！



生理用品の配布について

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済も厳しさを増す中、生活や仕事、DV被害、子育てや介護に関する女性の困難や不安が深刻な状況となっており、「生理の貧困」の課題が注目されています。このような状況を受け、経済的困窮や不安を抱えて相談に来られた方で希望される方に生理用品1セットを配布しております。

**【配布対象者】**新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的困窮や不安を抱えて相談に来られる市内在住・在学の女性で希望される方

**【配布場所】**平日はパレット柏内、男女共同参画センター等の相談機関で。土・日・祝日は、市民活動サポートコーナーで配布を行っております。配布場所等詳細はQRコード内をご確認ください。

配布場所詳細はこちら→

団体の皆さんにおかれましては、情報提供にご協力お願いします。



柏・愛らぶ基金登録団体になりませんか？

多様な活動を活性化し地域社会全体を元気にしていくために、行政だけでなく地域全体で活動を支援する枠組みが必要と考え、平成25年度に市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）を創設しました。

この制度は、市民や事業者から寄附を募り、その寄附を原資とした補助金制度となっております。特徴としては、寄附者が応援したい市民公益活動団体を選んで寄附をすることができることです！活動団体にとって使いやすい補助制度（原則、食糧費以外は補助対象）となっております。さらにふるさと寄附制度に該当するため、税控除の対象にもなります！

市民公益活動団体の皆様の中で、柏・愛らぶ基金制度について少しでも興味をお持ちになられた方は、お気軽に市民活動サポートコーナーへご連絡してみてください♪

☎ 04-7163-1143

柏愛らぶ基金HP→



編集後記

赤しそをたくさんいただいたので、しそジュースを作りました。これからの季節、さっぱりと飲めるし体によさそう。そして今回ご協力いただいたアンケートを集計していて、やる気パワーをいただくことができました。自然の恵みや、前向きで懸命な活動、思いにふれると免疫力がアップ！心も体も元気になれちゃうかもしれませんね。



(れ)